

GIGA スクール構想の実現について

1 背景

平成29年度 「学習指導要領」改訂

学習指導要領に、初めて「情報活用能力」を学習の基盤となる資質・能力と位置づけ、教科横断的にその育成を図るとともに、育成のために必要な ICT 環境を整え、それらを適切に活用した学習活動の充実を図ることとした。

- ・ 小学校（令和2年度から実施）
- ・ 中学校（令和3年度から実施）

平成30年度 「学校の ICT 化に向けた環境整備5か年計画(2018～2022)」策定

新学習指導要領の実施を見据え、国において「2018年度以降の学校における ICT 環境の整備方針」をとりまとめ、これを踏まえ「学校の ICT 化に向けた環境整備5か年計画(2018～2022)」が策定され、2018～2022年度に地方財政措置が講じられることになった。

- ・ 児童生徒及び教師用のコンピュータ整備(3クラスに1クラス分程度整備)
- ・ 学校におけるインターネット及び無線 LAN 整備
- ・ 学習用ツール、ソフトウェア等整備

令和元年度 「GIGA スクール構想の実現ロードマップ(2019～2023)」

国の補正予算を受けて示された「GIGA スクール構想の実現ロードマップ」では、令和5年度(2023)までに1人1台の端末から個人の教育データを収集・分析し、最適な結果をフィードバックすることにより、多様な子供たちを誰1人取り残すことなく、個別最適化された学びを実現するとしている。

- ・ 児童生徒の1人1台の端末環境の整備
- ・ デジタル教科書や AI 技術を活用したドリル等のデジタル教材の活用
- ・ 遠隔・オンライン教育等の活用促進

令和2年度 GIGA スクール構想の加速による学びの保障

新型コロナウイルス感染症の発生を受け、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業においても、ICT の活用により全ての子供たちの学びを保障できる環境の早期実現のため、国において補正予算措置がなされ、GIGA スクール構想の実現が加速している。

- ・ 1人1台端末の早期実現
- ・ 学校ネットワーク環境の全校整備
- ・ 家庭学習のための通信機器整備支援
- ・ 学校からの遠隔学習機能の強化

2 GIGA スクール構想の概要

別紙資料No.2 のとおり